

11月例会 鳥取県若桜町 氷ノ山 (1.510m 一等三角点)

日時 2016 (平成28) 年11月16日 (水)

天候 晴れ

参加者 CL黒瀬 SL高井 梶原

岩田 森田<sup>泰</sup> 高木<sup>唱</sup> 桑野<sup>洋</sup> 角南 小倉 船越 角原<sup>覚</sup> 山本<sup>廣</sup> 桑野<sup>敏</sup> 丹治 山本<sup>和</sup> 今井 高木<sup>ゆ</sup>

佐藤 三村 森田<sup>清</sup> 藤川<sup>豊</sup> 永谷 岡本 佐々木<sup>順</sup> 高仁 以上25名

行程 岡山駅西口(6:00)⇒赤磐市下市⇒湯郷温泉⇒奈義町⇒鳥取県河原町⇒若桜町氷ノ山キャンプ場PA(9:30)  
開会行事・出発(10:00)⇒氷ノ越(11:00)⇒仙谷分岐(11:50)⇒山頂・昼食(12:20-13:10)⇒氷ノ越(14:30)  
⇒駐車場(15:30)閉会行事等駐車場発(15:50)⇒岡山駅西口着(18:30)

概要 予定していた集合時間の9時30分に、駐車場に岡山からのバスが到着した。バスから岡山からの参加者が元気よく降りてきた。本日はどうにか降雨は免れそうな天候なので、幹事としては一安心である。駐車場で佐藤さんのリードで準備体操をした後、開会行事をした。会長挨拶のあと、担当幹事から日程の概要を説明し、「熊」の出没についての注意をした。駐車場のはずれから登山道に入り、なだらかな道が続く、晩秋(初冬か)の落ち葉を踏みしめながらの登山である。さしたる急坂もなく、11時には氷ノ越に到着した。ここからは稜線沿いに縦走をして山頂を目指すことになる。曇り空から、晴天の天候になった。この辺りまで来ると、紅葉も盛りをやや過ぎた感があるものの、それなりに趣がある。しばらく休憩をしたのちに、出発。稜線沿いの木々の枝には霧氷がついており、とても素晴らしい眺めである。樹間越しに鉢伏山やハチ高原スキー場が望遠できる。仙谷分岐を過ぎ、甌岩を過ぎると山頂はもう間近である。12時20分、頂上に到着した。13時10分まで昼食・休憩とした。風は冷たいものの、快晴のもとで、因幡の山並みから丹波の山並みの360度の展望を楽しんだ。

13時10分に頂上を出発して下山にかかった。甌岩を過ぎ仙谷分岐の中間あたりで、一人の足に痙攣がきて手当の為にしばらく休止をした。さらに仙谷分岐を過ぎ上り坂になったあたりで、別の人の足に震えがきて、湿布のためしばらく休憩をした。14時20分に氷ノ越に到着。15分ほど休憩をしたのちに下山を開始した。ぬかるんだ道を歩いたので、靴底が泥まみれになり、途中の水の流れている場所で、大体の泥を洗い流した。

思わぬアクシデントのため、予定より遅れて駐車場に15時30分に到着した。簡単に整理体操(森田<sup>泰</sup>さんリード)をして、閉会行事をした。岡山の仲間たちはバスに乗りし帰岡の途につき、県北勢はそれを見送って、それぞれ帰宅の途に就いた。(黒瀬 記)

